

部局名	子ども部	所属名	しろばら幼稚園	所属長名	鈴木 松代	電 話	484-7321
-----	------	-----	---------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3420		事務事業名称	しろばら幼稚園運営事業					短縮コード	経常	3420	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	04	幼稚園費	目	01	幼稚園費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		学校教育法第1条及び第77条～82条							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
しろばら幼稚園は,保育料が安く誰でも入りやすい公立幼稚園がほしいという市民の願いもあり,昭和47年10月1日に創立された。同時に事務事業の開始となった。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
平成20年度に,公立幼稚園の存続について「あり方検討委員会」を設け,しろばら幼稚園の今後のあり方について保護者と共に検討していった。検討した結果,幼児教育を充実させていくという提言書を提出して,平成23年度末をもって廃止の結論となった。					大項目（節）	01	学校教育						
					中 項 目	01	幼児教育						
					小項目（施策）	01	幼児教育の充実						
					細 項 目	01	幼稚園の充実						
02	就園機会の拡充												
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	4歳児から5歳児の幼児とその保護者。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 幼稚園と小学校（勝田台南小学校）との連携を図ると共に保育の充実に努めた。 1 音楽会への参加 2 特別活動等における児童と園児の交流 3 保護者や地域との連携（移動動物園,高齢者ふれあい教室等）							
	※平成23年度に計画していること： 幼稚園と小学校（勝田台南小学校）との連携を図ると共に保育の充実に努める。 1 音楽会への参加 2 特別活動等における児童と園児の交流 3 保護者や地域との連携（移動動物園,高齢者ふれあい教室等）							
意図 （何を狙っているのか）	安全で楽しく充実した幼稚園生活を送る。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	21年度	22年度		23年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	在園児数	人	57	55	52	30	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	幼稚園の開園日数	日	190	190	190	190	
	指標2	幼小連携における主な行事や交流の回数	回	7	7	7	7	
	指標3							
成果指標	指標1	子どもの満足度（出席率）	%	100	100	100	100	
	指標2	親の満足度（数値化に課題はあるが当面出席率とする）	%	100	100	100	100	
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3420		事務事業名称		しろばら幼稚園運営事業				所属名		しろばら幼稚園	
				単位	2 1 年度		2 2 年度				2 3 年度		
					実績		計画		実績		計画		
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0		0		0		0			
		県	千円	0		0		0		0			
		地方債	千円	0		0		0		0			
		一般財源	千円	0		0		0		0			
		その他	千円	3, 303		4, 052		3, 015		2, 944			
	主な事業費の内訳			報酬202千円 賃金1, 708千円		報酬197千円 賃金2, 363千円		報酬197千円 賃金1, 996千円		報酬172千円 賃金1, 741千円			
	人件費 (B)			千円	24, 635		24, 304. 8		24, 249. 3		16, 140. 6		
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)				千円	27, 938		28, 356. 8		27, 264. 3		19, 084. 6		

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由																
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		人間尊重都市の根幹を成し, 文教都市「八千代市」の一翼を担うべく, 唯一の公立幼稚園として, 幼児教育の充実を推進している。市民のニーズは, 教育費を少しでも節減し, 且つ, 質の高い教育を受けたいと望んでいる。本園のおかれた環境を最大限に生かし, 幼小の連携等, 本園ならではの特色を生かした教育を推進することにより, 市民の期待に応えていく。																
			☐ 結び付くが見直しの余地がある																		
			☐ 結びつきが弱い・ない																		
			☐ 評価対象外事項																		
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☒ 達成している		平成２０年度の「あり方検討委員会」において, 平成２３年度末をもってしろばら幼稚園の廃止が決定され, しろばら幼稚園の事業が完了する。																
			☐ 達成していない																		
			☐ 評価対象外事項																		
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある																		
			☐ 可能性はない																		
			☐ 評価対象外事項																		
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい																			
		☐ 見直す必要がある																			
		☐ 評価対象外事項																			
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある																		
			☐ 効率性向上の可能性はある																		
			☐ 両方可能性はある																		
			☐ 可能性がない																		
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等		☐ 臨時任用職員等の活用																	
											☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し										
													☐ 受益者負担の見直し								
															☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
																			2		実施主体 (所管部署)
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある																		
			☐ ない																		

